

「M 情報デスク」サポート団体

救う会大阪
秋田三輪さんを救出する会
西市民の会
米国に原爆投下謝罪を求める会
大阪の公教育を考える会
スパイ防止法の制定を求める会
外国人参政権に反対する会
関西
日教組の違法行為を告発する市民の会
竹島を奪還する会
関西
靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT



No. 149

【発行・編集】

MASUKI 情報デスク

増木 直美

大阪府豊中市上新田 2-6-25-113

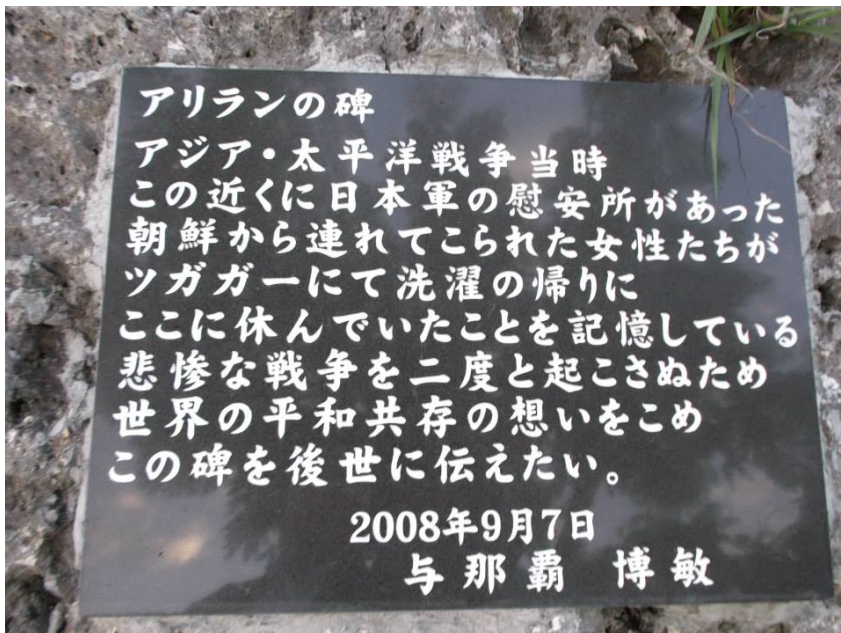
TEL 090-3621-1509

FAX 06-6835-0974

<http://mid.parfe.jp/>

mid@jewel.ocn.ne.jp

抗議！ 宮古島の慰安婦の碑



元中央区議 二瓶文隆
埼玉県議 鈴木正人

慰安婦の碑に抗議するため
E25-11-27
沖縄県宮古島に上陸す！

二瓶 文隆 FB 11/27

宮古島の慰安婦の碑を鈴木埼玉県議
と抗議の視察。

人の良い島の方を言いくるめ私有地に
こんな碑が建てられてしまい、日本人も
認めたと米国各地に計画されている慰
安婦像設置を正当化しようとしているま
す。直ちに、撤去すべきです。

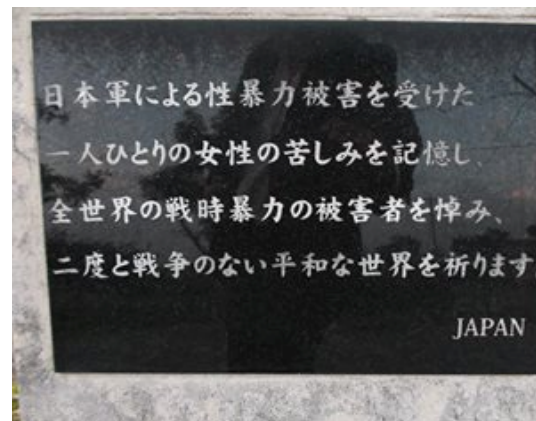
鈴木正人 FB 11/28

宮古島の共産党員の地主の土地に造られ
た慰安婦の碑によって、韓国人が悪用し
世界に性奴隷をやった日本と書かれてい
る慰安婦の碑が、大宣伝されておりまし
す。

慰安婦は戦地売春婦であり、相当な報酬
をもらっておりましす。

ところが、こうした石碑では性奴隷とし
て強制連行されたかのように記されてお
ります。さらに、こうした私有地に勝手
に造られた慰安婦の碑が宮古島市と言
う行政が造ったように世界に宣伝され、米
国でもさらなる石碑が建つかもしまし
せん。民有地とは言え歴史的検
証がしっかりなされぬまま、
東京の極左団体に言いくる
められて造られたインチキ
石碑は撤去すべきだと考え
元中央区議会議員の二瓶ふ
みたか議員とともに抗議の
視察をしてまいりました。

私のマイ
カーを今年の
参議院選で、
二ハイドン号
として、西郷
隆盛の大きな
ステッカーを
貼り使い、別
れがたくまだ
貼っています。
この二ハ
イドン号、鈴木
先生の選挙に
も使えるな！
マスキ



十一月八日ー開戦記念日ーをせう

H25-12-8 川西の教育を良くする会 中曾 千鶴子

「大東亜」戦争を戦った朝鮮人(元日本人)の真実と 叔父の70回目の命日に思う、

叔父が亡くなったのは、昭和18年1月、今年は70年目です。私は会ったこともない、叔父が大好きです。会いたかったです。

叔父は、九州熊本、天草生まれ、師範学校を出て、当時、大陸科というのがあったようですので、おそらく大陸科で学び、母子家庭で片親、兄弟が七人もいたので、給与のいい日韓併合時の朝鮮半島へ渡り、小学校の先生をしました。

当時、もちろん朝鮮半島と九州はパスポートなしで連絡船があり、もう一人の叔父は、その連絡船で働いていたと聞いた事があります。九州から朝鮮半島は、とても近かったです。

九州も朝鮮半島も同じ日本、そして朝鮮半島にすんでいる人は、当時は30年間も日本人です。30年間のあいだに生まれた人は生まれた時から日本人だったのが、戦争がおわった時は、急に日本人ではなくなりましたのですよね。

私の父親は、高専卒の発破技師で、戦争中は九州の炭鉱で朝鮮の方々とともに働いていて戦争に行くのを免れましたが戦後は、次々と倒産して、たいへんだったようです。朝鮮の方々は、仕事も失い国籍も日本人ではなくなり、たいへんだったと思います。

話は戻りますが 朝鮮半島で教員をしていた叔父は戦争に志願し、九州男児として頼もしい兵隊さんになりました。叔

父の所属部隊は、第二十師団 龍山歩兵第七十九連隊。ニューギニアに派遣され、すぐに亡くなりました。亡くなった時は、兵長でした。

大阪護国神社には、その七十九連隊の石碑があります。戦後、引き揚げて大阪に住んだ方が、戦友のために作られたようです。

私は大阪護国神社でいつもこの石碑にお祈りします。また叔父の写真は、靖国神社の遊就館にあります。中野哲夫とい

います。叔父の没後70年のこの11月、東京で、大東亜会議70周年に参加させていただき、アジアの独立、自由、反差別のために戦った大東亜戦争の意義を学びました。

また、昨日、偶然、叔父の部隊に関する資料、ブログを見つけました。叔父が朝鮮の方々とともに第二十師団で戦ったであろうとは思っていましたが、具体的な朝鮮の方々の思いや所属人数までわかりました。

私は叔父とともに戦った朝鮮の方々と差別する気持ちはありませんし、叔父の戦友、叔父自身を辱めることになりませんが、叔父自身も今までいろいろな抗議活動などをしていて、強い抗議もしてきたので、その私の表現や言葉の真の意味を伝えきれず傷ついた方がいたら申し訳ないと思います。

この叔父の70年目の命日に、私は叔父と朝鮮の戦友の方々の絆、ともに過ごし、ともに訓練し、同じ釜の飯を食い、

アジアのためにともに戦い、ともに散ったこと。これを深く深く胸に思い、せつなくります。

日本が敗戦し、悲劇の道を歩んだのだという歴史を感じると、今の世の中、日本が在日の方への差別、そして、政府だけでなく、一般の韓国の方までを嫌悪するような、極度の反韓、嫌韓を冷静に見直すことができるのではないかと思います。

私の叔父は、戦争で亡くなりはいませんが、母子家庭の母だった、母親(私の祖母)には一生、恩給が入り、親孝行をされたと思います。祖母は90才半ばまで仕事をすることもなく、豊かに生きましたし、同じくニューギニアに行き、マリアで帰国したもう一人の叔父は早くなくなりりましたが、私の父を含む残りの六人の兄弟姉妹は、みな長生きしています。恩給があったからです。

しかし、叔父とまったく同じ部隊にいて、日本軍軍人として同じ期間、同じ戦いで散った朝鮮の方々に「恩給」はないのです。

戦後、朝鮮戦争や混乱があり、記録などもなくなったりして、すべてがうやむやです。戦後、裁判がありました。敗訴されています。日本人や朝鮮の人でシベリア抑留されていた人で帰国できた人にも強制労働の賃金は、払われていないように、日本のために戦争で亡くなった人、シベリア抑留から帰国した人にみな平等な補償がないのは、悲しい気持ちになります。

もし日本が戦争に勝っていたら、朝鮮半島は分断されることなく朝鮮戦争もなく、日本から独立し自由と繁栄の国となっていたかもしれない。台湾もそうだったかもしれない。これは実現していないので

すから夢かもしれないし、わかりません。しかし、皆、幸せになったかもしれないし今のようない反韓、嫌韓、そして拉致問題もなかったかもしれない。歴史は変えられないし、ソ連、アメリカの冷戦時代もありまだまだ世界中が戦争ばかりになったかもしれないし、わかりません。大東亜の精神、アジア解放の精神は素晴らしい。しかし、東南アジア、アフリカ諸国、インドネシア、インドは差別から解放され、独立し自由になったけれども、戦後も共産主義や中国の民族弾圧、ボルボト、アフリカの民族紛争、様々な不幸も悲劇もありましたし朝鮮半島も悲劇にまみれ続けたと思います。

叔父の七十九連隊と、七十八連隊、八十連隊をあわせて、5000人くらいの兵隊さんがいました。

そのうち、下記資料から1140人が朝鮮の人だった。5人にひとり、日本人ではなく、朝鮮の人が 大東亜戦争中、もっとも過酷で「死んでも帰れぬニューギニア」という地に派遣され亡くなったのです。

ともにアジアの解放と、朝鮮の独立も夢見て手をとり戦い死んだのだと思います。

真の平和とは何でしょうか。反韓、嫌韓の現状、日韓友好はもうできないのでしょうか。このような兵隊さんの事を思い、戦中、戦後の真の歴史、いろいろな悲しみや悲劇を冷静に見ても、今、ハイト問題で話題の「在日特権」で何なんだろう、そんなものはやっぱり「ない」と私は思います。

新大久保や鶴橋の過激な日韓断交デモなどを見ると、私は叔父さんやともに戦った誇りある朝鮮の方々が、空の上で悲しんでいるだろう、彼らの絆と命をか



会いたかった、私の叔父 中野哲夫

名簿は日本国内では本人や遺族などにしか公開されず、93年に日本政府が韓国政府に引き渡し、韓

国国家記録院で整理された。09年から日本人研究者の閲覧が可能になり、竹内さんが10年に3回渡韓して調査、集計した。

配属先は日本占領地全域にわたる。陸軍は、朝鮮半島約6万2000人▽中国(旧満州、台湾含む)約4万3000人▽日本約2万人▽南方戦線約1万4000人▽航空軍・船舶軍(日本・アジア各地)で約2万人。

より細かい地域別では旧満州1万548人、フィリピン3926人、ビルマ4061人など。海軍は、鎮海(朝鮮半島南部の軍港)軍人約2万1000人▽横須賀・呉・佐世保・舞鶴・大湊などの軍属約8万人など。陸海軍で計約26万人になる。例えば、京城(現ソウル)の竜山で編成された歩兵第20師団はニューギニアに派遣された。

留守名簿によると、第20師団の歩兵第78、79、80連隊に、1140人の朝鮮半島出身者が配属されている。竹内さんは「この部隊は、日本への忠誠を示そうと志願した兵士が多い。それを激戦地に派遣し、歩兵部隊だけで、1

000人以上が戦死した」と、説明する。朝鮮半島出身軍人・軍属は敗戦後、第2復員局が「約36万人」と集計。その後、旧厚生省が「約24万人」とした。しかし、原簿が研究者に非公開なため詳細は不明だった。竹内さんは「未払い給与の記載もあり、日韓国交回復時の日韓条約で解決済みとされた個人補償問題にも影響するだろう」と話す。

調査結果は、論文「朝鮮人軍人軍属名簿からみた朝鮮人動員の状況」として、強制動員真相究明全国研究集会の冊子「日本の朝鮮植民地支配と強制連行」に収録。冊子の問い合わせは神戸学生青年センター(078・851・2760)へ。

けた戦いを思い胸が苦しくなります。日本に怒りを持つ人も、逆に朝鮮に怒りを持つ人も、この歴史の真実を見てほしいと思います。志願兵が多いことが、嫌々とか無理やりではなく、日本人も朝鮮の人とともに、正義のために戦おうと思ったのだと思います。彼らの思いを決して無にしたいけないと思います。70回めの記念の11月、私は、心を新たに祈ります

太平洋戦争：朝鮮半島出身動員26万人配属先の全容判明

★第20師団に、1140人の朝鮮半島出身者が配属…歩兵部隊だけで1000人以上が戦死した

<http://blogs.yahoo.co.jp/satoatusi2006/35482411.html>

食料増産のため、静岡県に「陸軍農耕勤務隊」として動員された朝鮮半島出身兵士の名簿。

本籍や氏名、所属先などが記録されている竹内康人さん提供(一部画像を加

工しています) 太平洋戦争中に朝鮮半島から動員された軍人・軍属約26万人の全配属部隊と配置先が、近代史研究家の竹内康人さん(54) 浜松市IIの調査で明らかになった。日本政府が韓国政府に引き渡した軍人・軍属関係の名簿を調査した。朝鮮半島出身の軍人・軍属は人数や配属地など詳細が不明だったが、アジア・太平洋全域に配備された全体像が初めて判明した。多くの犠牲者を出した「ニューギニア戦線」で朝鮮半島出身者が配属された全部隊名と人数など、初めて明らかになった事実も多い。【扇沢秀明】

太平洋戦争：朝鮮半島出身動員26万人配属先の全容判明

<http://mainichi.jp/select/today/news/20110903k0000e040051000c.html>

竹内さんが調査した名簿は、旧陸軍▽「留守名簿」(16万148人)▽「工員名簿」(2102人)▽「軍属船員名簿」(7046人)と、

旧海軍▽「軍人軍属名簿」(10万778人)。陸海軍省や戦後に改組された第1、第2復員局が作成した。軍人や軍属の履歴、配属先、死亡状況などが記載されている。

調査結果は、論文「朝鮮人軍人軍属名簿からみた朝鮮人動員の状況」として、強制動員真相究明全国研究集会の冊子「日本の朝鮮植民地支配と強制連行」に収録。冊子の問い合わせは神戸学生青年センター(078・851・2760)へ。



従事した。B C級戦犯として処刑された人もいる。

◇大変貴重な資料

朝鮮半島出身の軍人・軍属に詳しい早稲田大学大学院の内海愛子講師(日本アジア関係史)の話 朝鮮半島出身者の配属先は部分的には判明していたが、体系的に明らかにされたのは日韓を通じて初めて。基本的な資料として大変貴重だ。

大東亜戦争を戦った朝鮮人

朝鮮人志願兵による市街演習(日本人として戦った朝鮮兵より
<http://nandakorea.sakura.ne.jp/frame.html>)

大東亜戦争を勇敢に戦った朝鮮人がいた。抹殺された歴史!

大東亜戦争当時、朝鮮人は日本国民として大東亜戦争を支持し戦いました。

◎ 朱耀翰(しゅようかん 後に韓国国会議員) 昭和16年(1941年) 12月14日の米英打倒大講演会 演題「ルーズベルトよ答えよ」

「正義人道の仮面を被り、摂取と陰謀をほしいまにしている世界の放火魔、世界一の偽善君子、アメリカ合衆国大統領ルーズベルト君。君は口を開けば正義と人道を唱えるが、パリ講和会議の序文に、日本人が人種差別撤廃文案を挿入しようとしたとき、これに反対し、削除したのはこの国であり、黒人と東洋人を差別待遇して同じ席にもつかせず、アフリカ大陸で奴隷狩りをあたかも野獣狩りをするが如くしたのはこの国のものであったか。しかし、君等の悪運は最早尽きた。一億同胞。なかならず朝鮮半島の二千万は渾然一体となって大東亜の聖戦の勇士とならんことを誓って

いる」

◎ 李光洙(イ・グァンス 日本名、香山光郎 文学者)

「私は天皇陛下の子であるという考えを常に忘れずこの聖戦完遂に邁進する者であるからして、子々孫々の栄華を得るであろう」

昭和19年頃に東京に留学していた朝鮮人が、京城(ソウル)の朝鮮人街の映画館に入ったところ、ニュース映画で上映される日本軍の戦況に関するニュースに観客が熱狂する様子を見て驚いたといひます。東京の映画館でさえこれほどではなかったそうです。

昭和13年(1938年)に軍隊が志願兵を募集したところ、定員400人のところ2,946人が応募しました。そしてその後の募集も驚異的な倍率になります。

1939年 12,348名志願

613名合格

1940年 84,403名志願

3,060名合格

1941年 144,743名志願

3,208名合格

1942年 254,273名志願

4,077名合格

1943年 303,394名志願

6,300名合格

◎ 崔貞根(高山昇) 中尉は沖縄戦で敵艦哨戒中、敵艦船群を発見し、敵艦船めがけて突っ込みました。急降下爆撃中に被弾して帰還は望めなかったため咄嗟の判断だったといわれています。以下その感状です。

「身は半島に生まるるも 至誠忠常に國を憂へ 率先して陣頭に立ち 部下のコウ望殊に厚し」
◎ 金尚弼(きん しようひつ) 大尉 昭

和20年(1945年) 4月3日、沖縄沖で敵艦に体当たり(神風特攻隊)して戦死。生前、父と兄に寄せた言葉。

「僕は日本人になりきって日本のために死のうとしていたではありません。そこをよく解って欲しいのです。お父さんとお兄さん、この二人の意志を継ぐために、日本を勝利に導いて、その時には我々の武勲を認めさせて独立にもってゆくことなのです。大東亜共栄圏として、ビルマ、インドネシア、朝鮮、みな独立の道があるはずです」

昭和20年の硫黄島の戦いでも朝鮮人軍属はもとも武器もないのに勇敢に戦ったことが記録されています。爆雷を抱いて敵戦車に突入した人も一人や二人ではなかったといひます。

「元山地区陸戦隊の大多数は半島人にて編成しありたるところ、勇猛果敢昼夜なき白兵を持って敵を撃退。指揮官の下、同地を死守する統制ある戦闘を実施しつつあり、陸海軍賞賛のマト・・・」(大本営宛て電文)

現在、韓国では日本に協力したものは「民族の反逆者」と言われます。果たしてそうか? 韓国人も先人は崇高な使命感を持って大東亜戦争を戦ったのではないのでしょうか。あるものは大東亜共栄圏の理想に燃え、あるものは皇国民としての使命感を持ち、あるものは朝鮮独立のために・・・

◎ 朴鉄柱(韓日文化研究所) 昭和42年(1967年) ソウル

「大東亜戦争で日本は敗れたというが、敗けたのはむしろイギリスをはじめとする植民地を持った欧米諸国であった。彼らはこの戦争によって植民地をすべて失ったではないか。戦争に勝ったか敗れたかは戦争目的を達成したかどうかによって決

まる、というのはクラウゼビッツの戦争論である。日本は戦闘に敗れて戦争目的を達成した。日本こそ勝ったのであり、日本の戦争こそ、"聖なる戦争"であった。ある人は敗戦によって日本の国土が破壊されたというが、こんなものはすく回復できたではないか。二百数十万の戦死者は確かに帰ってこないが、しかし彼らは英霊として靖国神社や護国神社に永遠に生きて、国民尊崇の対象となるのである」

大東亜戦争を戦った朝鮮人。彼らの成し得たことは誇るべきものだったのです。参考文献

草思社「親日派のための弁明」金完燮(著) WAC「渡部昇一の昭和史」(続) 渡部昇一著

小学館SAPLO 2009/9/9「『民族の反逆者』か『祖国の英雄』か、2つの歴史が引き裂く朝鮮人将校の『特攻精神』」

裴淵弘 展転社「世界から見た大東亜戦争」名越二荒之助(編)

朝日文庫「硫黄島玉砕」多田実(著) 株式会社国際規格「日韓2000年の真実」名越二荒之助(編著)

<http://itaro.cocolog-nifty.com/hippon/2013/03/post-8c67.html?cid=102323726#comment-102323726>

26 頁

『在日特権』はあると思います。この点に関しては、中曽氏と意見が合いません。私は、その『在日特権』が生まれた責任は韓国朝鮮人ではなく、日本の行政、"NO"と言ったらいけないものを、相手の言うがままに受け入れた。相手が言うのは勝手ですから。確かに彼らの言い方に問題もあったと思います。しかし、気品的に毅然としない日本お行政の責任は重いと思います。 増木

議事だのレポート

H25-10-7

質面市議会定例会 武智秀生

質面市中学校歴史教科書等の採択制度改革について

「日本を取り戻す」を主要理念とした安倍政権のもと、現在、教育再生実行本部での歴史教科書等検定基準の見直しが真摯に検討されています。平成18年「教育基本法」は「教育目標の中で、伝統文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養う」と規定し「学校教育法」は義務教育の目標の一つに「我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養う」と改められました。さらに、「学習指導要領」は社会科の目標として「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家、社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う」と定めています。そしてこの解説書では、「愛情は、広い視野に立って我が国の国土や歴史に対する理解を深めさせた上で育まれるものであり、偏った理解の上に立つものではない」としています。しかし、現状は「近隣諸国条項」を最優先し、自虐史観が跋扈する歴史教科書等が採択されています。

さて、本市においては、2011年8月8日の教育委員会議で2012年度に採択する中学校教科書が決まりました。本市中学校教科用図書採択決定期間は連休後の5月9日～8月8日の3カ月でした。選定委員会の委員長等の選出、辞令交付、諮問、教研部会での調査員の互選に始ま

り、教育委員会の採択決議に至るまで、すべて教育委員会事務局が仕切りました。各校側の意見や市民の意見を重視する名目で、各出版社の教科書の見本が5月には各中学に巡回され、6月には、教育センターや市役所で1か月間展示されました。しかし、残念なことに、多くの市民には十分に周知されていなかったのが実情でした。結果、現職教員、採択に関心が高い教育関係者や市民活動団体等の意見が重視されました。

本市の平和団体みのお平和のまちをつくる会は、法定展示前の2011年5月10日付で「つくる会系教科書の不採択を求める請願と要望書」なる文書を当時の教育委員会の小川修一委員長に提出しています。これは、近隣諸国条項の遵守や「我が国の歴史教科書が近隣諸国の児童との相互理解を強化していない情報に懸念する」という2010年6月に開催された国連・子どもの権利委員会の最終報告を理由に、保守系の育鵬社や自由社の歴史教科書等の不採択を求めたものです。これらの意見も踏まえ、2012年度本市中学校の教科書採択は、地理と歴史は教育出版に、公民は東京書籍に決まりました。

しかし、この結果については多くの疑問が残ります。日本会議は、2011年7月1日付で、育鵬社・教育出版・清水書院・自由社・帝国書院・東京書籍・日本文芸出版の7社の中学校「歴史」「公民」「地理」教科書を、教育基本法、学習指導要領とその解説書の観点から入念に分析し、点数で表しました。

例えば、歴史的分野では

我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を前提に国際社会に生きる観点から記述されているか否か という点について、4点満点中、

育鵬社は4点、教育出版は0点でした。

公民的分野では

日本社会に生きる伝統的な信仰、日本人の心情に根付く自然観は記述されているか という点について、10点満点中、

育鵬社は10点、東京書籍1点でした。

地理的分野では

竹島が「固有の領土」であり「不法占拠」されていることが記述されているか という点について、12点満点中、育鵬社12点、教育出版は3点でした。

本市が採択した東京書籍の公民教科書は、在日外国人等の独特の文化に多くの貢を割く一方、日本文化については各地域に伝わる個々の多様な文化に触れるのみで「我が国の文化」には触れておらず、伝統文化の継承については、「観光資源」としての文化財の活用によって指導要領解説書から逸脱していると説明しています。

これらの分析をもとに考察すると、各教科書の内容を十分に精査されないまま採択されていることが明確です。

教科書の採択については、選定調査員、教員や市民団体の観点や意見に加え、投書箱の設置やアンケート調査などおこなう、保護者や一般市民の意見を反映する制度が必要と思われます。例えば、神奈川県川崎市は、教科書の採択について行われる議会が傍聴でき、東京都では学校票集計が公開されています。愛知県名古屋市中では、「歴史教科書を考える名古屋市会議員の会」を設け、名古屋市役所に各出版社の代表を招き、教科

書の内容や特徴について公開討論会を開催しています。

本市においても、各出版社の公開討論会をおこない、教科書採択については、密室採択を廃止し、採択選定候補の教科書の閲覧、採択議論の傍聴や教科書採択手続に関する文書等を一般市民に公開する必要がありと確信します。多くの市民が集う図書館や市民活動センターなどに採択選定候補の教科書を展示することで、市民の関心は高まり、意見収集にも効果的であると考察します。

教科書採択について、公開性などを含め、今後の取り組みについての見解を教えてください。

最後に、教科書採択での教育委員の責務についてですが、全国各地で教育委員会事務局主導での採択決議問題が報告されています。例えば、2011年8月単独採択区の石川県加賀市では、教育委員による会議で、育鵬社に決定したにも関わらず、休憩時間中に事務局職員に強引に説得され不採択になったというケースがあります。しかし、このようなケースは珍しいことではなく、教育委員会の事務局が組合支配になっている地域では多々起こっているのです。教科書採択の執権は市町村の教育委員会にあるのですが、質面市教育委員会の議事録を精査する限り、現実的には選定委員会が望ましいと提案した教科書を追認しているように感じます。

本来、子供たちに相応しい教科書は、教育委員自らが採択期間前より独自に入手し、調査・研究するなど、選定についての見識を高める努力が必要です。選定委員会が検討した結果を承認し、誰が選んだかよくわからないような現状から、教育委員が堂々と市民に採択の理由を論じ

られるような、本市独自の教科書採択制度のしくみを構築すべきと考えますがいかがでしょうか。

現在本市の教育改革は、子供たちの将来を見据え、教育委員会制度改革・教員の意識改革・ステップアップ調査等・三本柱で強力に推進しています。中学校歴史教科書等は、立志・根気・忍耐等、先祖や英霊の歴史を学ぶと共に、子供たちの未来に向けての指針ともいえる重要な手引書であります。真摯なご答弁をお願いします。

~~~~~ 答弁者 子供未来創造局長

ただいまの武智議員さんのご質問に對しまして、ご答弁いたします。

まず、現在の教科書採択の流れについてご説明いたします。

中学校を例に挙げると、現在、本市公立中学校で使用している教科書は

平成24年度から使用しています。その選定は、先ほどの武智議員のご質問にもありましたが、平成18年度

に改正された教育基本法等で明確となった教育の理念、平成20年度に

全面決定された学習指導要領に則り、平成23年度に箕面市教育委員会

が慎重に審議したうえで選定・採択したものです。

採択にあたっては、法律に基づき国が示している採択の流れに沿った

手続きで、大阪府教育委員会の指導・助言を得るとともに、箕面市教育

委員会の諮問機関である箕面市立学校用教科書図書選定委員会を設置し、

選定を進めてまいりました。なお、この選定委員会のメンバーは、児童

・生徒の保護者、校長、教頭、教員の各代表及び教育委員会事務局職員

8名をもって構成いたしました。

また、選定委員会には、教科毎に専門的な知識を有する調査員48名を置き

、各調査員は約1ヶ月にわたり文部科学省の検定を経た教科用図書を調査し、

選定委員会に報告したものです。

選定委員会は、調査員の報告を踏まえ、更に独自に調査・研究を行い、

その結果を教育委員会に對し答申したものです。

一方で、議員ご指摘の通り、より多くの保護者や市民の皆様のご意見を

教科書採択に反映することが求められることから、教育センターにおいて

見本を法定展示期間の2倍の期間を設定し展示するとともに、本市

独自に市立図書館においても巡回展示を行ったところです。

なお、教育センター及び図書館での見本の展示については、

「もみじだより」や市ホームページで市民のみなさまにお知らせいたしました。

また、見本の展示にあわせてご意見箱を設け、保護者や市民のみなさまの

意見を求めるなど、幅広い意見を取り入れる工夫を行ったところです。

教育委員会においては、勉強会を数度にわたり開催され、すべての各教科用図書

を検証されますとともに、箕面市立学校用教科書図書選定委員会からの答申

、保護者や市民の皆様から寄せられたご意見等を踏まえ、慎重審議のうえ、

本市の子どもたちの学習に最もふさわしい教科書を公平、公正に選定採択されたものです。

なお、他の都市の事例を挙げられての議員ご指摘についてですが、本市にお

きましては、教科書の選定・採択にあたり教育委員会事務局による誘導や、

一部の市民団体の意見を重視するなど、

一切そのような実態はないことを申し添えますとともに、教科書採択にあたっ

ては、国や大阪府が示している手続きや流れがありますが、本市独自に工夫で

きるところは工夫を凝らし、すべての教科用図書について検証するとともに、保

護者をはじめ市民のみなさまのご意見等を踏まえ、公開された教育委員会議の場

で、公平、公正に選定採択しているものと認識しています。

教科書の選定は、4年毎に実施することが政令で定められており、来年度に、

平成27年度から使用する小学校の教科書を、平成27年度にはその翌年度から

使用する中学校の教科書を選定・採択することとなります。

次期教科書の選定にあたりましては、議員ご指摘の点を踏まえ、採択権者である

教育委員会の権限と責任のもと、教科用図書の内容についての十分な調査・研究

と、適切な手続きによる公正且つ開かれた採択を一層促進し、引き続き、箕面の

児童・生徒にふさわしい教科書を選定・採択しまいります。

また、議員ご指摘の「箕面市の、ひいてはこの日本という国の将来を担う

「子どもたちの永求に向けての指針ともいえる重要な」教科書の抹殺にあたって

は、多くの市民のみなさまのご意見をお伺いする機会を増やしていくとともに、

教育委員それぞれが日々研鑽に努められ、より一層、公平・公正に判断できる選定の仕組みにしたいと存じます。

以上、ご答弁いたします。

~~~~~  
11月6日、衆議院内閣委員会

中丸啓衆議院議員(日本維新の会)

~~~~~  
倉林 宏平 FB H25-11-20

日刊広島新聞社

さて、少し前の出来事で恐縮ですが、表記の通り、国会で原爆慰霊碑の碑文を強く疑問視する発言がありました。調べ

てはいませんが、おそらく前代未聞ではないでしょうか。

「安らかに眠ってください、過ちは繰り返させぬから」

平和公園の慰霊碑に刻まれているこの碑文については、建立の前から今日まで議論が絶えないところですが、政治家は

これまでほとんどこの問題にほうかむりをしてきました。荒木元市長などは、市

長の就任までは碑文の抹消を主張するグループの顧問をしていたながら、市長にな

ったとたんに手のひらを返しました。政治家がこの問題に触れると、左派勢力から猛烈な圧力がかかるわけです。圧力といえは上品ですが、恫喝、脅しもあった

でしょう。

そんな碑文を、中丸議員はついに国会で取り上げました。録画はユーチューブなどで多数出回っていますので、見た方もいらつしやると思いますし、時間のあ

る方はそちらを御覧ください。

めんどくさがりやの方のために、文字起こしを以下に掲載いたします。ちなみに、官房長官の答弁にはすっこけました。

(感謝! 私も「めんどくさがりや」増木)~~~~~

原爆慰霊碑の碑文について、国会で言及!

「過ち…の文言、無くしたい」

「碑文と戦後教育が自虐史観を醸成た」

中丸啓衆議院議員が発言―6日、衆院内閣委員会

○中丸議員質問

広島には中心に平和公園があり、原爆

ドームがあり、原爆死没者慰霊碑がある。被爆者である私の祖母と父の名簿も収まっている。

この慰霊碑に「安らかに眠って下さい、過ちは繰返しませぬから」という言葉が刻まれている。石碑を設置するときからこの文言は議論になった。石に刻むということは重い。雑賀忠義という当時の広島大学教授が揮毫し、浜井市長は「この碑の前に額すく一人一人が過失の責任の一端を担い犠牲者に詫び再び過ちを繰り返さぬよう深く心に誓うことのみが平和の道であり」と述べている。

インド人法学者のパール博士(極東軍事裁判判事)は慰霊碑を訪れた際、通訳から内容を聞き「原爆を落としたのは日本人ではない、落としたアメリカ人の手はまだ清められていない。日本人が日本人に謝罪している、この碑文はおかしいのではないかと非難した。雑賀教授による英訳では主語が「We」になっている。広島市でWeといえば普通は我々広島市民と解釈できるが、広島市の公式見解も含め「世界の人々」「全ての人々」という言い方をしている。これを広大の講義でも述べている。

私も小・中・高と広島で学校に通ったが、小学校の時から平和教育を受けてきた。学校の先生からの説明は「日本人、当時の軍事国家が誤った戦争をしたから原爆を落とされた」。まるでアメリカ政府の見解のような教育をずっと受けてきた。私は当時は純粋な部分もあり「先生が言うんだからそうなんだ、日本人が悪かったんだ」と子供心に思った。これが自虐史観というものをつくりだしたと思う。

広島慰霊碑の前には海外からも多くの人が訪れる。日本が悪かったから、無差別殺人の兵器を人類で初めて投下され

たのが広島である。アメリカ政府は内政にも配慮した見解を述べるだろうが、少なくとも私の祖母や、当時子供だった私の父に、原爆を落とされて被爆しなればならないほどの責任があったとは到底思えない。

私が政治家を志した大きな動機のひとつに、この碑文の「過ち」云々の文言を広島から無くしたい、という強い思いがあった。これまで、広島選出の議員がこの問題に触れるのはタブーとされており、誰も公の場では言わなかった。ぜひともそれを言っていきたいと思っている。普通に解釈すれば日本語としておかしいと思うが官房長官の見解はいかがか。

菅官房長官答弁

実はこの碑文について、委員の指摘で初めて知った。広島市によって作成されたということなので、政府の立場としてコメントすることは控えさせて欲しい。その上で、色々調べる中で広島市のウェブサイトにによるとこの碑文は「全ての人が原爆犠牲者の冥福を祈り、戦争という過ちを再び繰り返さないことを誓う趣旨で」というような説明もあった。いずれにせよ、戦争は二度と再び起こしてはならないと考えます。

浅田 五郎 FB 長崎市議 H25-11-20

「安重根石碑」で日韓心離れ

初代韓国統監の伊藤博文(日本初代首相を暗殺した安重根をたたえる石碑の建立にたいして菅官房長官が韓国を批判した記事が今朝の新聞で取り上げていた。これは、当然のことであり先に歴史問題で日本、韓国、中国で話し合う意見に文

科省大臣が賛意を表したことを私は批判していました。中国は、安重根石碑建立場所が中国の暗殺現場であり、安重根を歴史上有名な義士と評価しております。

韓国との国家断絶が起こるとしてもこうした問題での妥協はすべきでは無く政府の強い姿勢を求めたいと思います。戦後70年もまもなくやってきます。経済優先で来た日本それなりに日本は先進国になり、経済大国になりました。しかし、主権国家であるべき姿勢まで放棄してきたそのつけが領土問題、歴史問題で韓国などより付け入られている現実を直視する時がきたのではないのでしょうか。釜山の小高い丘の観光地で銅像の説明で安重根の像であることを知り驚き不愉快な思いをしたことを、今日の記事で思い出しています。

国旗掲揚の現状を調査 11/11 富士見市議会議員 伊勢田幸正

埼玉県内の市議会での本会議場の国旗掲揚の現状を調査しました。
(11月11日現在)

県内40市中14市議会という状況です。当市もまだです。頑張ります。

さいたま市議会、熊谷市議会、秩父市議会、所沢市議会、東松山市議会、春日部市議会、狭山市議会、羽生市議会、深谷市議会、志木市議会、久喜市議会、北本市議会

※12月定例会より予定・・・鶴ヶ島市議会、日高市議会

伊勢田幸正議員、(確か)16日に結婚されました。三輪和雄課報部員によると、信じられぬようなできた奥さんで、皆でホッペをつねりあったとか。増木

私は勝ったのか負けたのか

H25-11-25 M情報 増木重夫

毎年、兵庫県宝塚市で国際文化課が主催し、外国との交流を深めようと〇〇国展、なるイベントを講演会をやったり展示物等で行っている。

今年は、いや今年も紹介国は朝鮮・韓国。朝鮮・韓国の在日が戦後がんばって道を作ったり、橋を架けたりして今の宝塚ができたのだ。と持ち上げるわけ。フザケルナ！宝塚を造ったのは小林一三翁だ。

本年は2017にこの行事があった。勧告総領事(確か)の講演が市のベガホールで行われた。道路使用の許可を取る時間になかったのか、一人でマイクを持ち、会場前で抗議宣言。たぶん、総連が民潭だろ取組まれた。おまわりさんがすぐに助け出してくれ、街宣続行。

そして翌日、救う会大阪を代表し、宝塚市役所国際文化課に、朝鮮・韓国友好展示に抗議に行った。

「これは毎年行われている。そして毎年朝鮮・韓国というのはおかしい。世界中に何力国もの国があるのだ。」と詰め寄った。返答は「検討する。」

そして、来年からの方針が決まった。市当局は私の抗議を重く受け止め、市長の強い指示もあり、来年から朝鮮・韓国との交流展は中止するというのだ。さすが、マスキンの抗議だ。重さが違った。

市長は土井たか子の愛弟子、辻本清美の姉貴分に当たる中川智子。

来年からは中国展になるとか。

ナメンナ~~~~~!! コノヤロ~~~~~!!
<http://www.youtube.com/watch?v=G28BQ5F4AaM&feature=youtu.be>

わたりに外国人問題をねぐる

H25-10-18 中谷良子

情報探索担当のJelly(じ)、中谷良子氏が、エジプトのタレント、フィフィのエッセイを探してきて紹介しました。今回はその3回目で、前号の続編です。

Jellyのブログより 10-18
<http://ameblo.jp/ryobalo/>

【超必見】在日外国人への生活保護支給のおかしな

在日特権がないと思われる方には是非読んでいただきたいです。以下マルチタレントの、フィフィ姉さんのド正論。

Jelly(じ)中野良子

在日外国人が「勝ち取った権利」とは

外国人に対しての優遇問題について、もうひとつ考えたいのが、生活保護費支給についての問題です。これは私も一人被保護者生活保護受給者は年々増加の傾向にあります。中でも外国人受給者の数は増え続けています。しかし生活保護法では生活保護の支給対象は日本国民と限定され、外国人は該当しないとしているのに、なぜ外国人に生活保護費を支給しているのでしょうか。

これは1954年に厚生省(現厚生労働省)が、あくまで「人道的見地」というきわめてあいまいな理由から、永住外国人と日本人配偶者などの外国人に、生活保護制度を適用するという通知を出したからなん

です。これによって一部の在日外国人にも、日本人と同じ条件で生活保護費が給付されることになったんです。

外国人の生活保護受給者のうち、6分の2が朝鮮半島出身者で、続いてフィリピン、中国と続きます。フィリピン人の多くは日本人配偶者による適用であり、それより上位の韓国人、北朝鮮人、中国人は特別永住者(日本の植民地時代に日本国籍となった朝鮮人や台湾人で、戦後日本国籍を離脱した人々)。1991年に日本在留資格を認定されたが占めています。

フィリピン人世帯は、その子供が日本国籍を持つケースが多く、特別永住者の場合は、子も親の国籍を引き継ぎ2世、3世というように、在日外国人として日本に定住するケースが多いという違いがあります。の在日外国人として、常日頃から提起している問題。

まず生活保護とは何であるかを確認しておきましょう。生活保護とは、生活保護法によって国や自治体が経済的に困窮する「国民」に対して「最低限の生活を保障する」ために支給する保護費のことです。

これを支給する制度を、生活保護制度と呼びます。生活保護の対象受給者については、生活保護法により無差別平等に適用されると定めています。すべての

国民」に「無差別平等に」の表記にあるように、あくまで「国民」と限定していることに注目してください。

ちょっと例を挙げてみましょう。子供1人の夫婦の3人世帯で受給できる生活保護費は約17万円です。子供2人の母子世帯で16万円。若年の単身で8万は5000円ほどです。子供2人と夫婦の4人世帯になると、これに教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助などが加算されて支給されているので、毎月30万円ほどの生活保護費が支給されることになります。

つまり日本の政府は外国籍を代々受け継ぎ、将来日本人になる可能性が低い人々を、国民の税金で養っているということなのです。実際のところ、生活保護受給基準以下の生活をしている日本人のうち、その8割が生活保護を受けられないでいるといわれています。

それでも政府が外国人に生活保護を支給するに至ったのは、ある歴史的な経緯があります。在日外国人の生活保護は、1954年から厚生省が人道上的見地から法律に定めていなくても特別に支給しているそうです。

でも、実際には人道的というより、在日外国人側からの要求に答えざるを得ない状況だったというのが正しいのかもしれない。戦後、日本では在日朝鮮人による「朝鮮人生活擁護闘争」がさかんに起こるようになります。1950年の長田区役所襲撃事件や1951年の下里村役場集

団恐喝事件(どちらも兵庫県など)、主に在日朝鮮人を中心とした、外国人による生活保護受給を求める事件が起きます。

さらに1952年には、生活保護費の増額を求める万来町ばらいちよう事件(山口県も起きています。これらの乱闘騒動がきっかけとなり、生活保護法で本来は受給資格のない在日外国人が、特別に生活保護を受給できることになったのです。

以前、私がツイッターでこれについて問題提起した際、在日外国人の大学教授に「後から来た外国人がこの国で日本人と変わらない待遇を受けられるのも、われわれの勝ち取った権利のおかげだ。われわれの勝ち取った権利なのだ」とずいぶんバッシングを受けましたが、彼の言う「努力」と「勝ち取った権利」とはまさにこの「朝鮮人生活擁護闘争」のことなのでしょう。

文句を言い続けてまでこの国に居座ろうとする人々

生活保護費を受給している在日外国人の多くは特別永住者だということは、先に述べました。その彼らに、在日外国人への生活保護費支給問題について意見を求めると、このような答えが返ってきます。

「先代は日本人によって、強制的に日本人にさせられた身であり、長きにわたるある程度の義務を果たしたので、我々は日本人と同等の権利を得る資格があるし、日本政府はわれわれを保護する義務がある」

これは戦時中の事情であって、私もそれ

に関して無知ではありません。しかし、たとえばそれは「2世までに認められる資格である」といったように、どこかで区切りをつける必要はあると思います。お互いに当事者からかけ離れた世代で、この先もその責任を負うことも、その賠償のために優遇措置を当然の権利として求め続けるのも、理不尽ではないでしょうか。

現在に至っては祖国に帰国する術もあるし、帰国を拒否されているわけでもありません。人道的な観点からの保護とするには、あまりにも基準が甘すぎるし、時代錯誤ではないでしょうか。祖国の内政状態があまりにも悪いならば、難民申請をしたうえで日本政府に保護を求めるべきだし、日本政府は難民申請した外国人のみ生活保護を与えれば十分だと思います。

もちろんそのうえで日本政府の保護下に置かれるのですから、生活にある程度制約が生じることは致し方ないでしょう。それでもして不正受給を防ぐことは、国の重要な役割のひとつなのでから。

日本国内の餓死者は毎年数十人発生しています。産経新聞は次のように書いています。

『厚生労働省の「人口動態統計」によると、死因が「食料の不足餓死」とされた死者は昭和9の年から平成の年まで「22人の人だったが、1年に58人、8年には80人を突破。それ以降、22年に30人となるまで毎年40人以上で推移し、過去30年間の最高は19年の63人だ

った」(産経新聞・平成22年2月26日) 難民でもあるまいし、帰る国がある身分で、「帰る場所がないんだから日本にさせろ日本が保護しろ」と訴えるのはいかなるものでしょうか。

いつ法律や社会情勢が変わって帰国をしなければいけない状況がくるかもわからないのに、この国の人間ではない人が、それに備えてなかったのなら、それは自らの責任です。そこまで日本政府が配慮する必要もないですし、面倒を見る義務もありません。まずは自国民の生活困窮者に目を向けるべきではないでしょうか。

しかも生活保護を受給していると豪語する国の出身者です。事実、日本における経済活動で富を得た人も少なくありません。すでに日本が援助する必要もないほどの経済発展を遂げた国の人間を、日本政府が積極的に保護することに不自然さを感じます。

生活が困窮しているのなら、祖国に戻り、自分たちの政府に保護を求めるのが筋ではないでしょうか。民族思想にこだわり、祖国を愛するというわりには、彼らはその国にかかわろうとしません。彼らの言う愛国心とやらが矛盾だらけで、理解に苦しみます。

日本がよっぽど居心地が良いのか、それとも祖国に戻れば敵国からの帰還者として差別されるのか。いずれにせよ、私なら文句を言い続けてまで、その国に居座ろうとは思いませんね。

バックパッカーを経験ス!

11月23日 日本世論の会 会長 三輪和雄

以下、三輪会長の原稿ではない。増木からのレポート。

11月23日、日本与論の会大阪支部(茶橋和夫支部長)で、同会会長三輪和雄氏の講演があった。

1週間ほど前、三輪会長から電話を頂いて、23日のホテルを確保してくれという。どこへ電話してもないらしい。24日にちよつと用事があるという。

※(ここだけの話)会長が「ちよつと用事」と言ったら、もちろん女性・・・ではありません。鉄道に乗りに行くのです。知る人ぞ知る鉄道オタク。

予算は8000円程度。

おやすい御用「御意!」と引受、まずは百人の会御用達サニーストーンホテルに電話。「23日」と言うやいなや「満室です。」と即答。調べもしない。それから嫁と二人でネットと電話を使い4時間の格闘。会長のご命令とあれば「ダメです。」とは絶対言えない。それは切腹を意味する。

1室あった。お一人、13万円。いくら会長でも、世論の会、そこまで会費は集まっていられないだろう。もう1室見つかった。豊能町でペンション。大阪市内から2時間はかかる。奥多摩と思っていただけはいい。京都、大阪、神戸・・・全滅。

そこで、以前に宇佐美名古屋市議がこれまた緊急で止まったあるホテルを思い出した。百人の会理事長、辻先生に電話し「先生の名前使わせて」と泣きつく。辻先生の支援者に、大阪は動物園前、ド

西成でバックパッカー専門(?)のホテルを営んでおられる方がいる。早速電話。即座に「満室です。」そこで「実は辻先生の・・・実は・・・何とかお願いを・・・」「何とかします。」「これほどコネが頼りになるとは思はなかった。

全滅の理由は、11月26日は秋の行楽で1年中で一番ホテルが混む日。それに『嵐』のコンサートがあり、それが重なり全滅の現象が起きたようだ。

さて、三輪氏が止まったこのホテル、お風呂、トイレ、シャワーすべて共同。2700円。

三輪会長翌日感謝(?)の電話をいただいた。一応言葉は感謝なのだが、「増木さん家に止めてもらったほうが良かったよ。」(始めからそうしろって言うてんのに)などとイントネーションがブーたれていた。

きっと会長は、近日中に「バックパッカー体験記」を書かれると思う。切羽詰ったところという方法もあるという話です。

さて、三輪会長の講演、実はこの日、私は救う会の街頭署名とダブってしまい、最初の30分ほどしか講演を拝聴することができなかった。始まる前にそのことを会長にはなし、「重要な話は頭20分で話すように」と、闇取引をした。茶橋会長「ごめんなさい。」

その中で、**安倍さんは年内に靖国に行かれると会長は、いろいろな根拠を示し、明言された。** 増木

一生に一度は皇居の清掃奉仕を!

〒255-1113 石黒大圓(大阪)

月曜日から木曜日まで皇居勤労奉仕へ参ってきました。そして一昨日深夜に日に焼けた顔で元気に大阪へ帰還しました。

私たちは河村保美子団長の下、「茨木市『歴史講座』皇居勤労奉仕団」の名で29名が4日間ご奉仕させていただきました。他にも全国から9団体400名ほどが参集しました。

そして私たちの団体だけが日の丸旗を団の旗印として私が先頭に掲げ持ちました。清掃場へ行く道中、整然と列をつくり、それはあたかも皇居で日の丸行進をしている感じがしました。

初日は幸運にも一昨日に園遊会のあった赤坂御苑で、落ち葉清掃を唯一わが団体だけが受け持たせていただくことができました。

テレビの映像に映った芝生や道はすべて私たちがきれいにさせていただきました。感動もひとしおでした。

そしてこの日、皇太子殿下のお会釈がありました。しかし雅子妃殿下は一緒にありませんでした。

2日目はあいにく雨になりましたが、天皇皇后両陛下のご会釈を賜り、皆が感動で打ち震え、涙、涙の20分ほどでした。

雨のため江戸城があった皇居内の本丸と二の丸の見学でこの日は終わりました。少々残念。

3日目は吹き上げ御所周辺の見学と腐葉土選別や雑草抜き作業。

4日目は天皇陛下お誕生日や新年一般参賀が行なわれる長和殿の裏庭や、周辺

の落ち葉掃除や道路の清掃をさせていただきました。

長和殿の裏庭など首相でさえ入れない場所、これも幸運なことでした。

◎皇居内風景と宮内庁生協でのみやげ勤労奉仕や天皇お誕生日、新年一般参賀の時だけでなく、皇居内見学は「一般参観」という宮内庁のツアーに申し込めばできます。そのような団体を私たちは清掃中に見ました。しかし勤労奉仕団はそれ以外の場所へも入っているのが特別待遇なのです。皇居東御苑にある江戸城跡の本丸や二の丸公園は無料で入れます。また菊の御紋が入ったグッズや食べ物土産などが宮内庁生協売店で買えます。この売店は勤労奉仕団が朝食や昼食をとる窓明館にあります。

私が投稿しています「皇居勤労奉仕団」報告は、天皇皇后両陛下への尊崇の志ある方々に後に続いていただきたい、という思いから書いています。

●宮内庁 皇居勤労奉仕のご案内

<http://www.kunaicho.go.jp/event/krohoshi.html>

「美しい皇居を守る力」それが皇居勤労奉仕です。

皇居勤労奉仕は、昭和20年の月に空襲で焼失した宮殿の焼け跡を整理するため、同年12月に宮城県内の有志が勤労奉仕を申し出たことが始まりであり、それ以降、今日まで奉仕を希望する方々をお受けしています。現在の皇居勤労奉仕は、連続する平日の4日間、皇居と赤坂御用地で、除草、清掃、庭園作業などを

行います。広い場所ですから個人でというわけにはいかず、この人からの0人までの団体による参加をお願いしています。団体は地域の集まり、職場の仲間、学生有志など多彩にわたります。

●詳しい受付要領

<http://www.kunaicho.go.jp/event/pdf/krohoshi-youyou.pdf>

- ・年齢資格・・・15歳から75歳まで。
- ・奉仕人数・・・15人以上60人以内。
- ・奉仕期間・・・月々木または火金。
- ・奉仕場所・・・皇居及び赤坂御用地。
- ・作業時間・・・午前8時45分～午後3時30分

●申請方法:

- ・奉仕を希望する月の6か月前から受け付け。
- ・7月、8月及び12月16日から翌年1月15日までは受入れない。
- ・学生で構成された団体は、夏や正月前後の期間も受入れる。
- ・現在は、平成25年11月から平成26年4月まで受付。

ピンボケでスミマセン



風化する拉致事件

救つ会大阪 代表 増木重夫

事のきっかけは

「政府主催・拉致問題啓発コンサート」拉致被害者の救出に向けての想いが込められた演奏会を開催します。という記事です。そこで私は、

『・・・何か、いまさら「啓発」には違和感を感じます。もう、「拉致」を知らない人などいません。10年前じゃあるまいし。「想いを込める」暇があったら、具体的対策を打っていただきたい。』とメルマガを流しました。それに対し、おつる(中曽千鶴子氏)から次のようなメールが来ました。

『昔から拉致問題に取り組んでいる方は、その様なもどかしい気持ちも抱くのでしようが、今の大学生、高校生などは全く拉致問題など知りません。まさしく啓発「も」必要なのです。』と。

ちょうどその時、山谷事務所の速水秘書に用事があり、電話。ついでにこの話をしたら、「横田さんなどが学校に講演に行くと、生徒はキョトンとしてるようよ。」と。

私の塾では、生徒は「拉致問題」をよく知っている。それはそうだが、街頭署名の前の日など「幟りを車に積み。」などと授業そっちのけで騒いでいる。生徒が気がつかないわけではない。

そこで、政府に対し「子供にしっかりと拉致を教えろ」と国会で追求していただく。その基礎資料となる、生徒の『拉致認知度』調査にご協力ください。次頁アンケート用紙に直接、またはコピーを取り、小4以上のお子様から聞き取り調査を行い、郵送、FAX等でお送りください。

ら ち 拉致問題に関するアンケート

お父さん、お母さんへ

どうか、お子様に回答を誘導しないで好きなように書かせてください。もちろん聞き取りも構いません。
このアンケートは国会を通じ、政府に対し、「もっとしっかり、学校で、またはその他の場所で拉致問題の啓発に取り組め」と迫るための基礎資料になります。

【回答者（対象；小4以上）】

学年〔小・中・高〕 _____ 年、または _____ 歳代 〔男・女〕

〔 〕内の該当事項を○で囲んでください。

- 1 『拉致』って、なんのことか知ってますか？
〔学校で残しになること ・ 拳銃で人を撃つこと・外国人が日本人をさらうこと
人をコンクリートに埋めること・飛行機がかってに他国の空を飛ぶこと〕
- 2 名前を聞いたことがある人がいたら○で囲んでください。
〔桜田淳子・横田めぐみ・島倉千代子・土井たか子・浅田真央・有本恵子〕
- 3 拉致事件が起きたのはおおよそ何年くらい前でしょう？

〔去年・5年前・10年前・30年前・70年前〕
- 4 拉致事件はどのへんでよく起こりましたか？
〔海岸付近・山の中・都会の高層ビル内・学校のトイレの中〕
- 5 拉致した国はどこですか？
〔フィリピン・中国・北朝鮮・アメリカ・台湾・チベット〕
- 6 警察庁が発表した、拉致されているかもしれない人はおおよそ何人くらいですか？
〔25人・230人・860人・4350人〕

ありがとうございました。ご協力感謝します。

救う会大阪（代表 増木重夫）
秋田美和さんを救出する川西市民の会（代表 中曽千鶴子）

大阪府吹田市古江台2-10-13

TEL 090-3621-1509 FAX 06-6835-0974

<http://mid.parfe.jp/kannyo/sukuukai/top.html> mid@jewel.ocn.ne.jp

このアンケートは、ご面倒ですが、FAX または郵送で！！

オしが日本を守る！ ナメシナ中国！

衆議院議員 左藤 章

二月23日 左藤 章Tbより

23日、中国が防空識別圏に東シナ海を設定したとの発表に対し、中国に即時撤回するよう求める決議を、自民党国防部長として、高市政調会長、城内外交部会長とともに記者会見にて発表いたしました。

つづいて、自民党政務調査会の決議として、岸田外務大臣、小野寺防衛大臣、そして磯崎総理補佐官へ申し入れをいたしました。

我が国固有の領土・尖閣諸島の領空をあたかも中国の領空であるかの表示は、断固として受け入れられないものであり、公海上空における飛行の自由の原則を不当に妨げるような今回の措置に対し、即

時撤回を強く要求いたします。
決議内容の全文は自民党本部Tbよりご覧いただけます。

<https://www.jimin.jp/activity/news/122990.html>

~~~~~  
実は、左藤章先生、私と高校が同じで、1年先輩なのです。

福井県立高志高校。東大に20人くらいはいつも入っている、名門校なのです。先生から23年前から、同窓会関西支部を作ろう。持ちかけられて、私はその気になっているのに、今度は逆に先生が忙しい。

先生の実家も私の実家から車で20分位。何かと縁のある頼もしい先生です。

## 学力差 M情報 増不重天

橋下市長の母校北野高校で、入学直後の1年生の生徒に単語のテストをする。

トップ組は仮に1000個書けたとする。今度は底辺高の3年生の卒業直前のビラの生徒に同じ問題でテストをする。どのくらいかかると思いますか。

40年間学習塾をやってきた経験から、1000個書ければいいほうだろう。後は押して計るべし。同じ高校生でもこのくらい違う。そして、昨今1000個しかかけない連中まで大学へ行くという。

「上の上」「上の中」「上の下」を選択する試験と「上」「中」「下」または「下の上」「下の中」「下の下」を選択する試験では全く問題を変えないと選別

は不可能。  
準備するほうは大変だが、2段階は当然だ。次の政策は正解だと思う。

2段階のテスト導入提言へ到達度、

「基礎」と「発展」でセンター試験衣替え 時事通信 10-22

政府の教育再生実行会議（座長・鎌田 薫 早稲田大総長）が、新たに導入する方

## 活動資金の協力をお願い

（文）支援等（口）財  
郵便振替 00080 8245454 MASUKI 情報デスク  
三愛東京 JCB 銀行 千田支店 0044349 増不重天

先ずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは子供達に誇りある国を残すため、日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっていますが、「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしく願ひいたします。

○ カンパ金の主な用途は下記団体の、

・ 活動の資料等の発送費・道路、公園

## 原稿・同封資料の募集について

弊会『M情報活動報告』は現在のごころ毎月全国約5千（目標1万）部発送しております。掲載ご希望の論文、情報等ございましたらご記入表記事務所まで

## 諸情報のメール配信について

『M情報』では、日々、全国各地の間から、または情報収集の専門家から情報を送られてきます。それをメールで転送します。内容はどこよりも詳しく多種多様。「量が多過ぎ」とお叱りを受けるの

針の高校在学中の到達度テストを「基礎」と「発展」の2段階レベルとし、大学入試センター試験はこのうち発展レベルに衣替える方向で入試改革の提言を検討していることが22日、分かった。早ければ次回の会議で提言をまとめ、安倍晋三首相に提出する。

使用申請料・交通費、通信費・資料、

ビラ等の制作費・備品購入費等

○ M情報が運営を行っている主な団体

・ 救う会大阪 ・ NO! 民主「桜組」

・ 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

・ 米国に原爆投下謝罪を求める会

・ 大阪の公教育を考える会

・ スパイ防止法の制定を求める会

・ 外国人参政権に反対する会・関西

・ 日教組の違法行為を追及する市民の会

・ 竹島を奪還する会・関西

・ 改憲祈念の会、他

◇ 前記口座、または同封の郵便振替にてご協力ください。

でお送りください。また、弊紙は郵メールで発送しています。重さ制限は50gです。まだ余裕がございますので、資料等の同封が可能です。ご相談ください。

ですが、試しに一度受信してみませんか。ご不要でしたら即停止いたします。要領は次のアドレスに「メール希望」と空メールを（発信名義「NO法人百人の会」）。  
t100prs@oregano.ocn.ne.jp